

最新ニュース

文/腎臓内科・研修教育委員会委員長 坂本いずみ

研修教育委員会の紹介

研修教育委員会は、「働き甲斐のある職場づくり」を合言葉に、名古屋記念病院で勤務する皆さんが、笑顔のコミュニケーションを通して仲間への思いやりを持ち、患者さんのために自負をもって働くことができるプロフェッショナルになることを目的に活動する委員会です。



委員会では明るく快適な職場づくりのための意見交換が弾みます。

患者さんに気持ちよく医療を受けていただくため、職員同士が仲間への思いやりを持ちながら実力を発揮するために、いろいろな職員研修を企画しています。

メンバーは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・放射線技師・臨床工学技士・理学療法士・管理栄養士・事務職員・システムエンジニア・メディカルアシスタント・ケースワーカーなど、ふだん院内各部署で活躍しているスタッフです。

「新人研修」「接遇研修」「職員研修」の3チームで活動しています。

「新人研修チーム」では、社会人として新たな一歩を踏み出した職員のサポートをしています。4月の入職時オリエンテーションでは「社会人とし

ての心構えと接遇マナー」、5月の新入職員研修では「エゴグラムによる自己分析とグループワーク・情報伝達コミュニケーション研修」を行いました。研修を通じて部署を超えた同期の仲間ができることに期待しています。

「接遇研修チーム」は、患者さんやご家族に対する接遇改善に取り組んでいます。これまでに、講演会やあいさつ運動を行いました。この夏は委員会メンバー全員で「医療機関での接遇は一般の接遇とどう違うのか」をテーマにざっくばらんに意見を出し合うワールドカフェ・ミーティングを開催しました。

「職員研修チーム」は、長く楽しく働くための一助として職員同士のコミュニケーションの向上を目指して

います。本年度は「明るい病院をつくる”どないやねん力” Wマコト講演会」を行いました。また医療者として身につけるべき知識を学ぶ必修研修(感染対策・医療安全・保険診療)の出席状況を確認し、よく学んだ職員に記念品(ロゴ入りボールペン)を配布しました。

現在は、シミュレーションセンター(学習室・演習室)の設置に取り組んでいます。

人形や練習キットを使った演習を行う演習スペースになる予定です。救命救急やベッドサイド看護習熟の場となり、また病院に学びにきてくれる学生さんの学習や、職員の日頃の研究成果を学会発表する準備にも使えるように工夫しています。



5月に名古屋クレストンホテルで行われた新入職員研修。毎年、研修教育委員会の皆さんが大活躍する場です。新たなホスピの仲間を心を込めて指導します。



「明るい病院をつくる”どないやねん力” Wマコト講演会」では研修センターが爆笑の渦で盛り上がりました。ユーモアのあるコミュニケーションのヒントを得たようです。

WHAT'S NEW

第32回 ホスピー研究会が行われました。



9月10日、名古屋国際会議場白鳥ホールにてホスピー研究会が行われました。この会は年1回、HOSPYグループ全施設の職員が集まって研究発表や講演会、永年勤続表彰を行うもので今年で32回目になります。

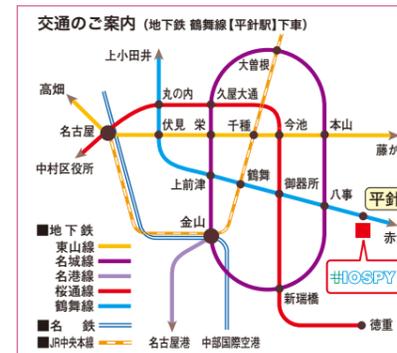
今回のテーマはAI(人工知能)と医療。早稲田大学名誉教授藤江正克先生と、富士通株式会社主席エヴァンジェリスト中山五輪男先生より2題の講演があり、新しい技術による今後の医療の姿を皆で考えるととても良い機会となりました。

■診療科目

内科、血液・化学療法内科、化学療法内科、疼痛緩和内科、呼吸器内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科、心臓内科、消化器内科、内視鏡内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、脂質代謝・血管内科、神経内科、心療内科、※総合内科、感染症内科、※膠原病・リウマチ内科、小児科(感染症、アレルギー疾患、循環器、神経、内分泌、血液、腫瘍)、外科、消化器外科、肛門外科、胸部外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、泌尿器科、腎臓外科、整形外科、リウマチ科、産婦人科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、脳神経外科、麻酔科、病理診断科、救急科、神経精神科、形成外科、アレルギー科、リハビリテーション科(※は院内のみの診療科)

●関連施設

新生会第一病院・東海クリニック・金山クリニック・鳴海クリニック・東海知多クリニック・十全クリニック・平針記念クリニック・社会福祉法人新生会付属診療所・身体障害者療護施設「あしたの丘」・訪問看護ステーションサルビア・ホスピー居宅介護支援事業所・新生会介護サービスセンター他



Tel.052-804-1111 〒468-8520 名古屋市天白区平針四丁目305番地